

平成 30年10月23日

(あて先) 一宮市長

<申請者>

所在地 一宮市定水寺北畑6番地

団体名 一宮市地域精神障がい者家族会「びわの会」

代表者 職・氏名 会長 落合久子

### 一宮市市民活動支援金交付申請書

一宮市市民活動支援金の交付を受けたいので、一宮市市民が選ぶ市民活動に対する支援に関する条例第5条の規定により、下記のとおり申請します。

記

1 事業の名称	精神疾患・精神障がいに対する啓発普及事業		
2 事業の分野 <small>(主たる分野を一つ 選択し、○で囲んでください。)</small>	保健・医療・福祉 観光の振興 環境の保全 人権・平和 子どもの健全育成 経済活動 NPO支援	社会教育 農山漁村・中山間地域振興 災害救援 国際協力 情報化社会 職業能力・雇用機会 その他(	まちづくり 文化・芸術・スポーツ 地域安全 男女共同参画 科学技術 消費者の保護 )
3 支援金交付申請額	378,666 円		

(算出基礎)

事業に要する経費 (a)	568,000 円
事業に要する経費のうち対象となる経費 (b)	568,000 円
当該事業によって得られる収入 (c)	0 円
支援金交付申請額※ 上限: 「(b) × 2 / 3」 または 「(a) - (c)」 のいずれか高くない方	378,666 円

※ 1 円未満切捨て

#### 4 添付書類

- (1) 一宮市市民活動支援に係る団体調書 (様式2)
- (2) 一宮市市民活動支援金申請事業に係る計画書 (様式3)
- (3) 一宮市市民活動支援金申請事業に係る収支予算書 (様式4)
- (4) 団体の規約その他これに類するもの



備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4 (片面印刷) とする。

一宮市市民活動支援に係る団体調書

団 体 名	一宮市地域精神障がい者家族会「びわの会」		
市 内 事 務 所 の 所 在 地	〒491-0004 一宮市定水寺北畑6番地		
代 表 者 職・氏 名	会長 落合 久子		
設 立 年 月	平成22年 3 月	構成員の人数	48人
U R L	http://		
連 絡 先 ※この申請に関する問合 せに対応できる方	(担当者氏名) 落合 久子		
	電 話	0586-76-2147	F A X 0586-76-2147
	E-mail	Spu77my9@aioros.ocn.ne.jp	
団 体 の 目 的	この会は、精神障がい者を持つ家族がお互いの悩みをうちあけ、経験を話し合い励ましあうこと、精神障がい者の医療と福祉について、正しい知識を持つこと、精神障がい者に対する偏見を除去すること、精神医療の内容、社会復帰施設の充実のために努力すること、それによって精神障がい者並びにその家族が明るく生活できる社会の実現をめざします。		
主 な 事 業 内 容	精神障がい者の医療と福祉について正しい知識を持ち市民の方と勉強する。自らの経験を生かし、孤独になりがちな家族を支援し、家族の悩み・苦しみを話し合い、精神障がい者にとって望ましい社会資源のあり方について提言する。		
主 な 活 動 の 実 績	<p>例会 毎月第3土曜日 13時30分～16時まで 思いやり会館 平成28年7月より一宮市の委託で思いやり会館にて家族相談事業開始。 毎週月曜、水曜 TEL 0586-73-0505</p> <p>平成29年度 電話相談120件 面談89件 平成30年度4月～9月 電話相談38件 面談45件 平成30年10月20,21日みんなと一緒に福祉とボランティア活動展18名参加 平成30年11月17日こころの健康フェスティバル13名参加予定 平成30年11月9,10日、精神保健福祉甲州・東海ブロック高山大会2参加予定 平成29年12月2日第8回こころの健康セミナー びわの会主催 ー専門家任せから自分研究へー 東京大学先端技術研究センター准教授 熊谷晋一朗先生 一宮駅前ビル 2階大会議室 入場者数 168名予定</p>		
来 年 度 予 算 額	1,899,892円	昨年度決算額	1,749,076円
条令第2条第3項に掲げる要件について	すべて満たしている・ 一部または全部満たしていない		
市 からの 他 の 補 助 金 等 の 有 無	有 (補助金等の名称: ) 無		

一宮市市民活動支援事業に係る計画書

<p>団体名</p>	<p>一宮市地域精神障がい者家族会 「びわの会」</p>
<p>事業の名称</p>	<p>精神疾患・精神障がいに対する啓発普及事業</p>
<p>事業の内容</p>	<p>(1) 実施期間 (準備期間や後処理期間も含めてください)                  平成31年4月 1日 ~ 平成32年3月 31日</p> <p>(2) 実施場所                  尾張一宮駅前 i ビル 2階会議室の予定                  I ビル3階会議室 「振り返りの会」</p> <p>(3) 受益対象者                  テーマに関心のある一般市民、当事者やその家族                  医療、福祉関係者の方</p> <p>(4) 実施体制                  当会の関係者 15名~35名</p> <p>(5) 具体的な内容                  こころの病気の理解は難しく当事者はもちろん、その家族も苦しみが多いです。普及啓発活動として、精神疾患に関する講演会を行います。今回の講演会は、精神科ソーシャルワーカー松浦幸子氏、東京都調布市で30年にわたり、障がい者が地域で生活する場を提供されています。クッキングハウスというギャラー喫茶のある居場所、おいしいねから元気になるレストラン、生活支援、就労支援の場などを通して地域の人々の理解を得て共に生きる場を作ってこられました。その実践を通して障がいがある人もともに普通に生活するためのヒントや、病気の理解を進めるための取り組みをわかりやすくお話していただき、学び合おうという企画となります。なお、松浦氏と関わりのある障がい者の方も2名お招きし、お話を伺います。                  今年はびわの会創立10周年を迎えるので「びわの会活動10周年の歩み」をまとめ、会員だけでなく関係者の方に配布し広く地域の偏見・無理解などの克服につながる活動を深めて継続してゆきたいと思えます。</p>
<p>事業のふりかえりとその生かし方</p>	<p>今年も講演会でのアンケートや感想を文章化していきます。その結果をもとに、来年度も家族もともに心の病気を理解し支えないと当事者だけでは回復の歩みが遅くなることを地域の方々と共に学び合いたいと考えます。                  また、講演会開催を軸にしながらも、「びわの会活動10周年の歩み」を配布することなどで、今後も精神保健・医療の啓発普及活動の幅を広げていきたいと存じます。</p>

備考1 用紙の大きさは、日本工業規格A4 (片面印刷) とする。

備考2 ページ数は2ページまでとする。

<p>当該事業を実施する理由</p> <p>※目指す地域・社会像や、事業を実施することにより、どのような課題が解決され、どのように目指す地域・社会に近づくか等を記載してください。</p>	<p>精神障がいに関する世間の不理解や偏見は、以前より少なくなってきたとはいえ、依然として根強く残っており、当事者・家族は「一番辛いことは何か？」それは「症状」から来ることももちろんありますが、その症状は「見えない障害」のために周りの人や、身近な家族にその苦しさや大変さが理解されない点にあり、「わかってもらえないつらさ」を二重にかぶって生活しています。</p> <p>びわの会家族会は、発足当初十数名から出発しましたが、8年間で50名近くなりました。我が子の異変を理解しようと、共通体験者がその偏見を克服しようと月1回の定例会を持ち、話し合い支え合ってきました。</p> <p>福祉サービスのあり方は、当事者のためにこそ必要であって当事者抜きでは「お仕着せ」の福祉と言わざるを得ません。昨今は「偏見・不理解」を乗り越えて声を上げる当事者の出現に、私たち家族も励まされています。</p> <p>びわの会にもさまざまなこころの病気に苦しむ当事者、家族がおり、病気の理解は家族にとっても大変なことですが、それなしでは病気の回復は進みません。また当事者家族を支える、医療、福祉、一般の方々の理解がより一層願われます。今回の講演会ではさらに多くの方の理解が深まり、障がいがあっても地域で普通に生きられる社会になることを願っての講演会と「びわの会活動10周年の歩み」記念誌発行を企画しました。</p>	
<p>費用負担について</p> <p>※受益者負担が求められるかどうか、公金で実施する理由などを記載してください。</p>	<p>当事者やその家族は経済的にも困っている人たちが多いです。費用負担を求めるのは無理なことだと考えられます。こうした人たちにこそ「理解」を促したいので、こうした普及啓発講演会ではできる限り「受益者負担」にはしたくありません。</p> <p>今や精神疾患は4人に1人がかかるといわれ、誰でもかかる病気です。本来なら、公益性が高く、行政が進んで「普及啓発」をしていただきたいと考えます。ぜひとも公金援助をお願いいたします。</p>	
<p>事業スケジュール</p>	<p>時期（月）</p> <p>4月</p> <p>9月</p> <p>9月</p> <p>9～12月</p> <p>12月</p> <p>1～3月</p>	<p>内 容</p> <p>講師、スケジュール（日程・場所）を最終決定する</p> <p>チラシ作成と広報の開始（ホームページで紹介）</p> <p>・ポスター掲示依頼活動</p> <p>・チラシ配布、</p> <p>講演会12月8日予定</p> <p>振り返りの会后、まとめ冊子作り（家族会員アンケート）に着手。</p> <p>冊子の普及活動</p>

備考1 用紙の大きさは、日本工業規格A4（片面印刷）とする。

備考2 ページ数は2ページまでとする。

一宮市市民活動支援事業に係る収支予算書

団 体 名 一宮市地域精神障がい者家族会「びわの会」

事業の名称 精神疾患・精神障がい者に対する啓発普及活動

収入

科 目	金額 (円)	内 訳
一宮市支援金	378,666	
事業収入	0	
自主財源	189,334	<input checked="" type="checkbox"/> 会費収入・寄付収入より <input type="checkbox"/> 他事業の収入より <input type="checkbox"/> その他 ( )
計	568,000	

支出

科 目	金額 (円)	左記のうち 支援金算出額 (円)
報償費	80,000	80,000
旅費	99,000	99,000
印刷製本、消耗品費	185,000	185,000
食糧費	4,500	4,500
通信費、手数料	8,500	8,500
備品費	0	0
人件費	153,000	153,000
使用料、賃借料	38,000	38,000
その他		
計	568,000	568,000

支出科目の内訳

科 目	金額 (円)	内 訳※1
	支援金算出額 (円)	
報償費	80,000	講演会講師謝礼 3名 80,000円
	80,000	
旅費	99,000	講師交通費 3名 69,000円(東京往復) スタッフ交通費@20円×25km×60回=30,000円
	99,000	
印刷製本、 消耗品費	185,000	ちらし、ポスター印刷 70,000円 資料作成(参加者配布用) 15,000円 「びわの会 10周年の歩み」300冊 100,000円
	185,000	
食糧費	4,500	講師食事代@1,500円 X1回 X3名=4,500円
	4,500	
通信費、 手数料	8,500	ポスター、ちらし郵送料 7,700円 振り込み手数料 800円
	8,500	
備品費※2		
人件費	153,000	事前準備打合せ書類作りポスター貼り等 @900円 X3h X30回=81,000円 当日準備受け付け後片付け @900円 X4h X20人=72,000円
	153,000	
使用料、 賃借料	38,000	会場費 20,000円 椅子他備品 18,000円
	38,000	
その他		

※1 一部が「支援金算出額」となる場合は、その該当分のみを( )書きで再掲してください。

例) スタッフ費用 @1,000円×5h×2人=10,000円 (@900円×5h×2人=9,000円)

※2 備品費を計上する場合は、内訳欄に購入理由も記載してください。

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4(片面印刷)とする。